

コロンビア政治情勢（6月分）

1 概要

【内政】

- 2日 「ヘスス・サントリッチ」の送還
- 11日 大統領選挙期間におけるE L Nの一方的一時停戦表明
- 15日 コロンビア政府とE L N間の第5回和平交渉の終了
- 17日 2018年大統領選挙の決選投票
- 20日 サイバー犯罪に関する条約の議会承認
- 21日 エクアドル人報道関係者の遺体発見
- 26日 麻薬対策の新戦略
- 27日 和平特別司法制度（J E P）訴訟法の上院承認

【外交】

- 1日 サントス大統領の欧州外遊（於：スイス）
- 4～5日 オルギン外相のO A Sの第48回年次総会出席（於：ワシントン）
- 15日 オルギン外相の太平洋同盟閣僚級会合出席（於：メキシコ）
- 28～30日 ドウケ次期大統領の米国訪問（於：ワシントン）

2 本文

【内政】

1 ヘスス・サントリッチの送還

2日、麻薬密輸容疑で逮捕され、人道的配慮から一時カトリック教会に身柄が移されていた元F A R C中央参謀本部メンバー、セウシス・パウシーバス・エルナンデス（Seusis Pausivas Hernandez）、通称「ヘスス・サントリッチ（Jesus Santrich）」が元の拘置所に再び移送された。7日、在コロンビア米国大使館は、同氏の強制送還に関する正式要請をコロンビア政府に提出し、法務省及び和平特別司法制度（J E P）で同要請に係る審議が行われた。

2 大統領選挙期間におけるE L Nの一方的一時停戦表明

11日、E L Nはコロンビア国民の選挙参加に影響を及ぼさないよう、大統領選挙が行われる17日を含む15日から19日までの期間に一方的一時停戦を行う旨表明した。

3 コロンビア政府とE L N間の第5回和平交渉の終了

15日、コロンビア政府とE L N間の第5回和平交渉が合意に達しないまま終了した。第6回和平交渉は25日に開催予定であったが、その後7月2日に延期された。

4 2018年大統領選挙の決選投票

17日、コロンビア大統領選挙の決選投票が実施された。21日に発表された投票の公式結果は以下のとおり。

(1) イバン・ドゥケ候補

53.22% (1,039万8,689票) (有効投票の56.39%)

(2) グスタボ・ペトロ候補

41.16% (804万0,449票) (有効投票の43.61%)

これにより、ドゥケ候補（民主中道党）が次期大統領に当選した。

5 サイバー犯罪に関する条約の議会承認

20日、コロンビア議会はサイバー犯罪に関する条約を承認した。同条約への加盟に際し、コロンビアは2013年より5年間の猶予期間が与えられており、本年が加盟への最後の年である。

6 エクアドル人報道関係者の遺体発見

21日、国家警察及び軍の特殊部隊は、コロンビアとエクアドル国境の密林地帯（注：行政区分はナリーニョ県トゥマコ市）で4名の遺体を発見した。その内の3名は、FARC離反兵により構成される武装犯罪組織「オリベル・シニステラ戦線」の通称「グアチヨ（Guacho）」に誘拐されたとみられるエクアドルの「エル・コメルシオ」紙の報道関係者と身元が判明している。

7 麻薬対策の新戦略

26日、サントス大統領は、違法作物根絶のため、除草剤の空中散布にドローンを活用する旨を発表した。同大統領は、ドローンの低空飛行は除草剤の散布に利点があると説明した上で、代替作物の栽培面積地の目標を7万ヘクタールとすることを再度強調した。2017年のコカの栽培面積地は20万9千ヘクタールと見積もられ、栽培面積は前年比1%増となり、過去最大となっている。

8 和平特別司法制度（JEP）訴訟法の上院可決

27日、上院議会は、移行期正義の適切運用のための訴訟規則を規定したJEP訴訟法案を可決した。同法案は民主中道党から提出された修正を受け、元FARC兵が和平合意後に犯した罪に関する外国からの身柄引渡請求に対しJEPが判断する権限を持たないことを明確化した他、軍人・元軍人に対する裁判はJEP内に新たな軍事法廷を設置して対応することを盛り込んだ。

【外交】

1 サントス大統領の欧州外遊（於：スイス）

1日、サントス大統領はフランス及びベルギーを訪問後、スイスに訪問し、国際労働機関（ILO）の総会にオルギン外相と共に出席した。

2 オルギン外相のOASの第48回年次総会出席（於：ワシントン）

オルギン外相は、米州機構（OAS）の第48回年次総会に出席した。同外相は、同総会の場でOAS及びその他の国々による和平プロセスへの支援に感謝した。また、ベネズエラ問題の深刻化及び移民の増加に対する懸念について言及した。

3 オルギン外相の太平洋同盟閣僚級会合出席（於：メキシコ）

15～16日、オルギン外相はメキシコで開催された太平洋同盟閣僚級会合に出席した。同会合は、7月23～24日にメキシコ・プエルトバジャルタで開催予定の第13回太平洋同盟首脳会合の調整を目的に行われた。

4 ドウケ次期大統領の米国訪問（於：ワシントン）

28～30日、ドウケ次期大統領は米国を訪問し、キャロル国家薬物取締政策局長、ボルトン国家安全保障問題担当大統領補佐官及び米国議員らと会合を行った。また、アルマグロ米州機構（OAS）事務局長と会談し、コロンビアの南米諸国連合（UNASUR）脱退及びベネズエラ政府に対する対策強化を要請した。